

第2章 御嵩町の現状

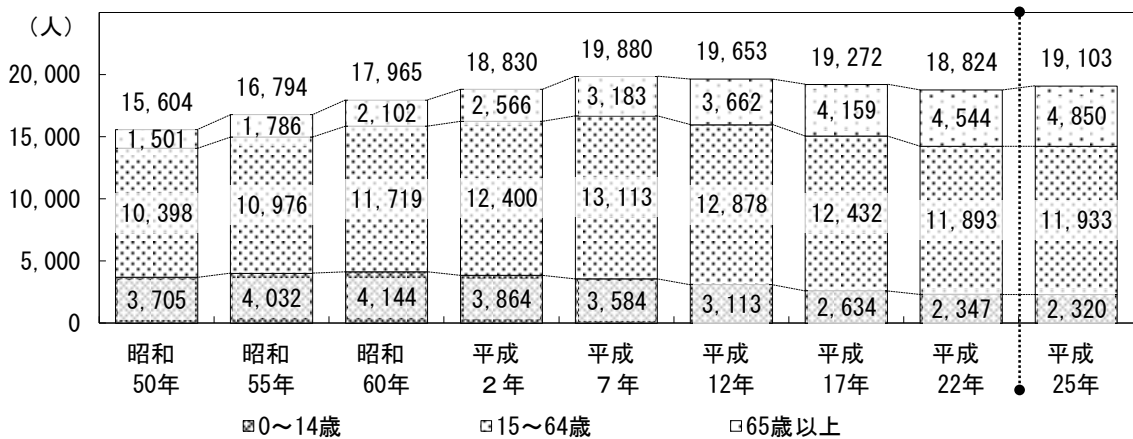
1 人口など

(1) 人口の推移

本町の総人口は平成25年4月1日現在、19,103人です。人口の推移をみると、19,880人だった平成7年をピークに減少傾向にあります。

0～14歳、15～64歳、65歳以上の年齢を3区分別にみると、0～14歳の年少人口は昭和60年まで増加していましたが、平成2年以降減少を続けており、構成比率も12%台まで低下しています。それに対し、65歳以上の高齢者人口は大幅に増加を続けています。昭和50年には0～14歳人口の5分の2であったのが、平成12年には0～14歳人口を上回り、平成25年では0～14歳人口の2倍以上となっています（図表1-1・図表1-2）。

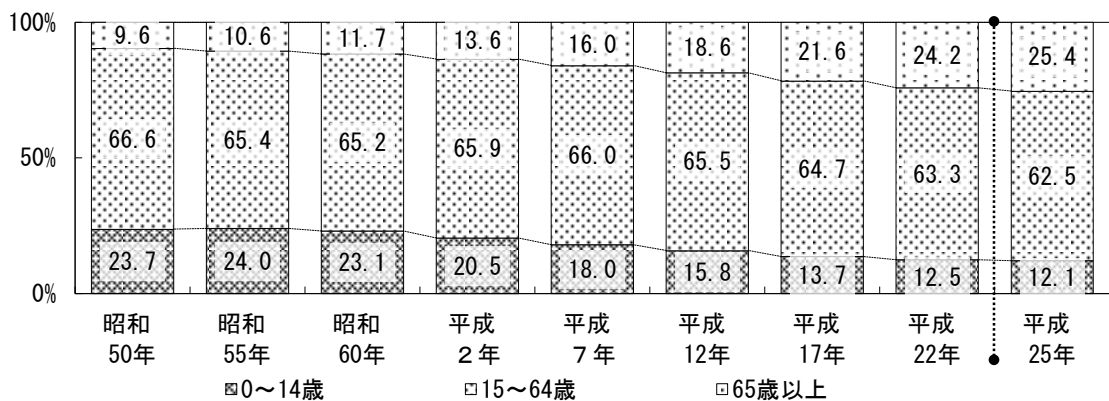
図表1-1 人口の推移



(注) 総人口は年齢不詳（平成17年：47人、平成22年：40人）を含む

資料) 平成22年までは国勢調査、平成25年は4月1日現在の住民基本台帳

図表1-2 年齢構成の推移

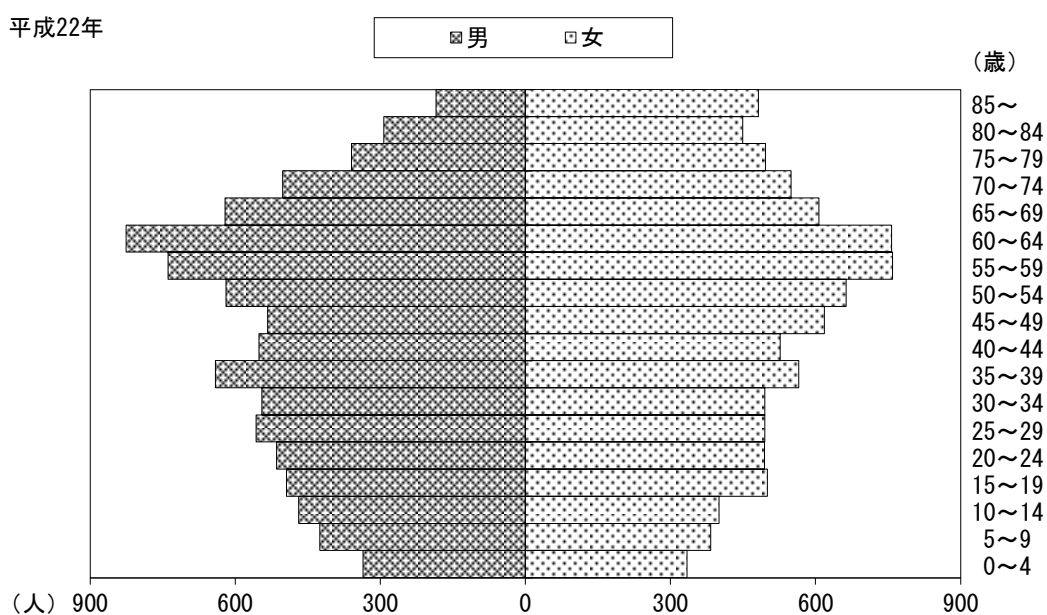
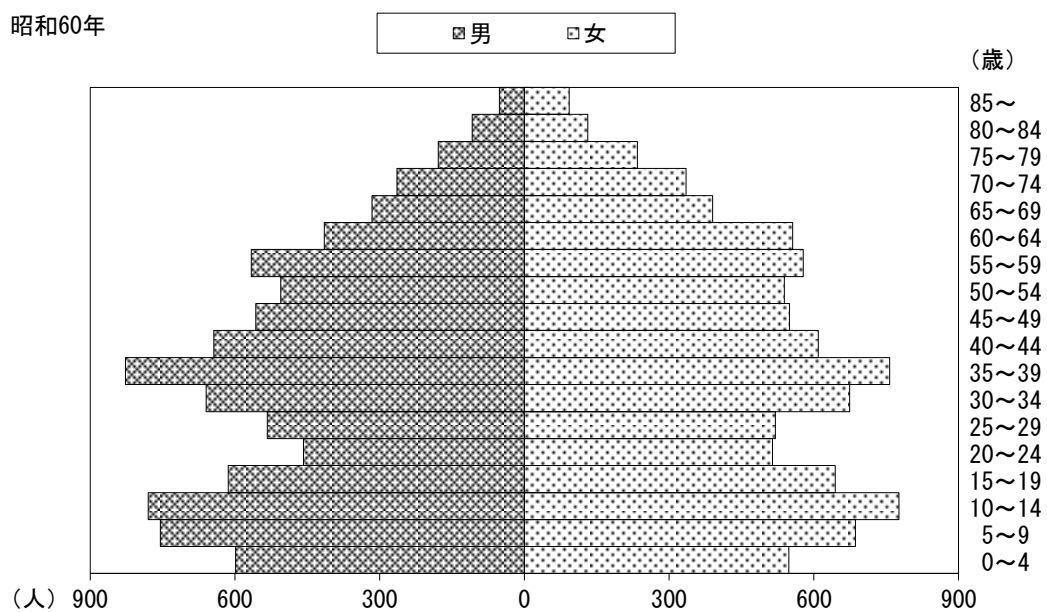


資料) 平成22年までは国勢調査、平成25年は4月1日現在の住民基本台帳

(2) 人口ピラミッド

国勢調査の結果から昭和60年と平成22年の本町の人口ピラミッドをみると、年少人口の減少、高齢者人口の増加にともない、裾の広がった「ピラミッド型」から、裾が狭まった「つぼ型」に変化しています。なお、団塊の世代を含む年齢層（60～64歳）が突出して多くなっています。

図表1-3 人口ピラミッド



資料：国勢調査

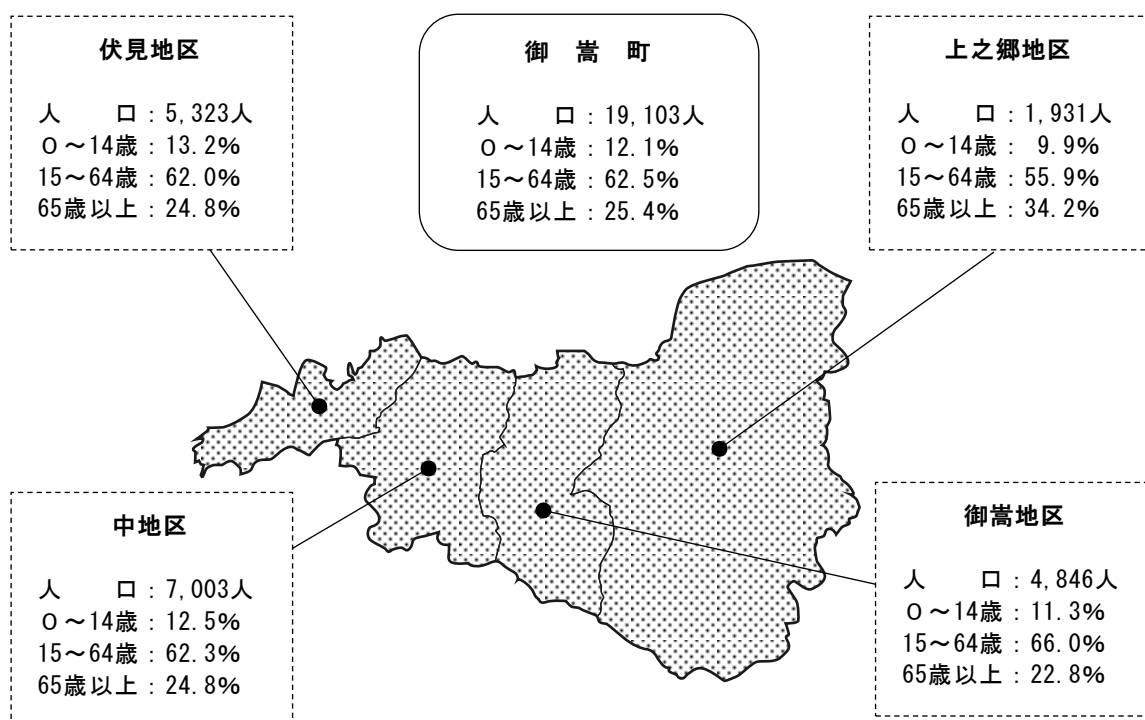
(3) 地区別人口

図表1-4は、各地区における人口の年齢別構成割合をみたものです。

いずれの地区も、65歳以上の人口割合（高齢化率）が0～14歳の年少人口割合を上回っています。

本町の高齢化率は25.4%ですが、上之郷地区は34.2%と非常に高くなっています。

図表1-4 地区別人口と年齢構成比

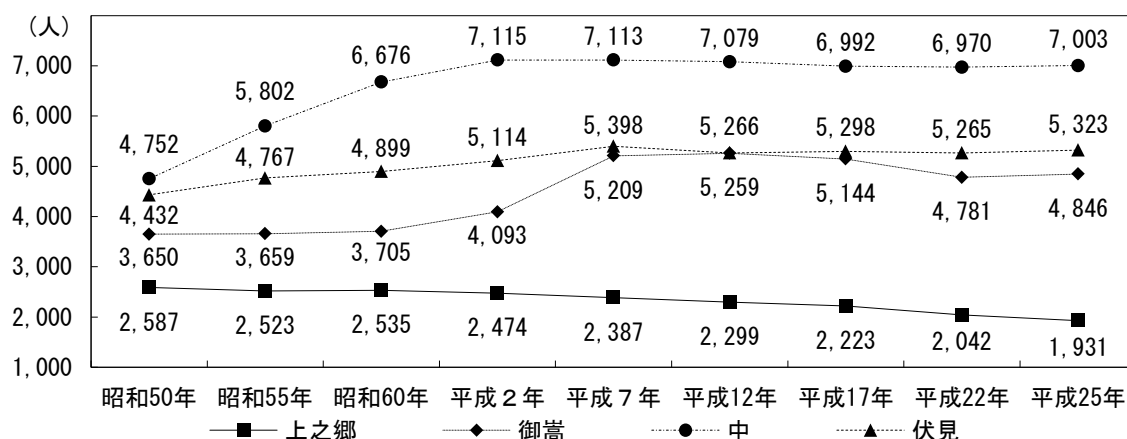


資料：住民基本台帳（平成25年4月1日現在）

(4) 地区別人口の推移

図表1-5は、地区別人口の推移を表したものです。中地区は昭和50年から平成2年にかけて2,300人ほど増加して以降は、わずかに減少傾向にあります。御嵩地区は平成2年から平成7年の5年間で1,100人ほど急激に増加しましたが、中地区と同様わずかに減少傾向にあります。伏見地区はゆるやかな増加傾向にあり、減少を続けてきた上之郷地区は平成25年に2,000人を下回りました。

図表1-5 地区別人口の推移



資料：住民基本台帳

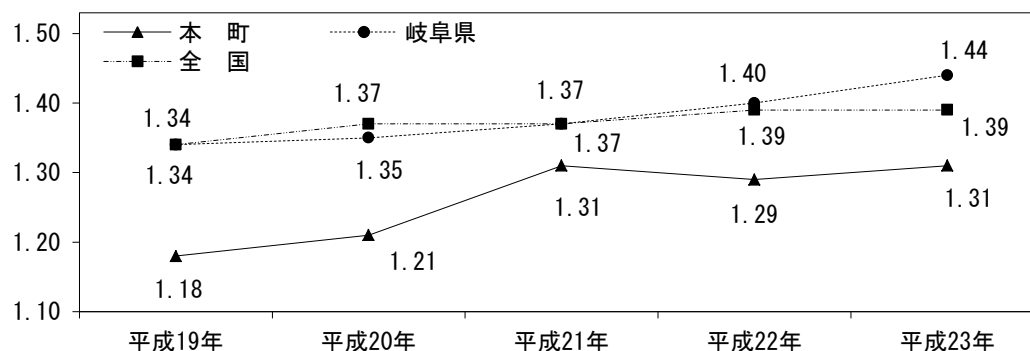
(注) 平成22年までは10月1日現在、平成25年は4月1日現在

(5) 合計特殊出生率

合計特殊出生率は、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものであり、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとした時の子ども数を表したものです。この合計特殊出生率が2.07を下回ると将来人口が減少するとされています。

平成23年10月1日現在、本町は1.31あり、全国および岐阜県を下回っています。

図表1-6 合計特殊出生率の推移



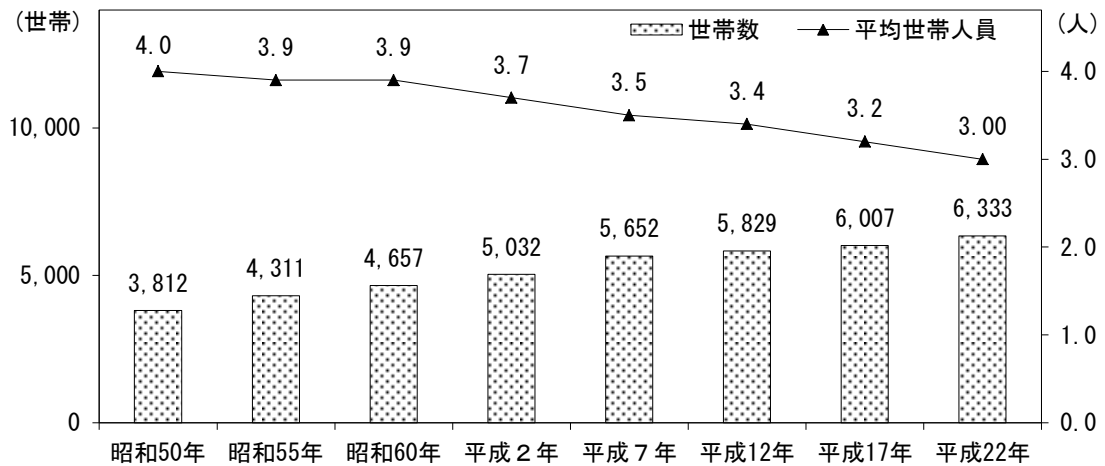
資料：可茂地域の公衆衛生

2 世帯の状況

(1) 世帯の推移

図表1-7は、世帯数（一般世帯および施設などの世帯）と1世帯当たりの人数の推移をみたものです。世帯数は年々増加しているのに対し、1世帯当たりの人数は年々減少しています。

図表1-7 世帯の推移

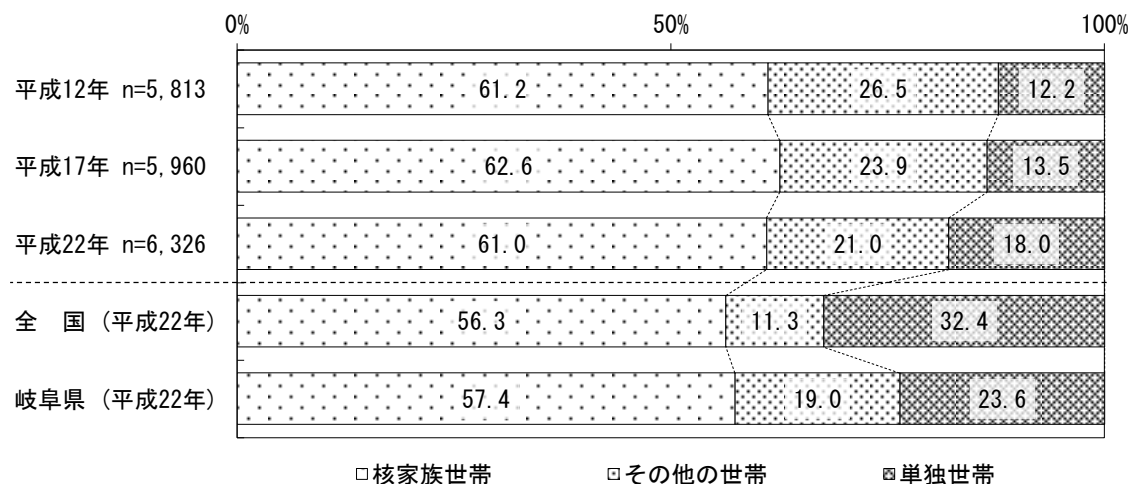


資料：国勢調査

(2) 世帯の家族類型

平成22年の一般世帯の家族類型をみると、核家族世帯が61.0%、その他の世帯が21.0%、単独世帯が18.0%となっています。その他の世帯はこの10年間で5.5ポイント減少していますが、依然として全国および岐阜県より高いのが本町の特徴です。

図表1-8 世帯の家族類型



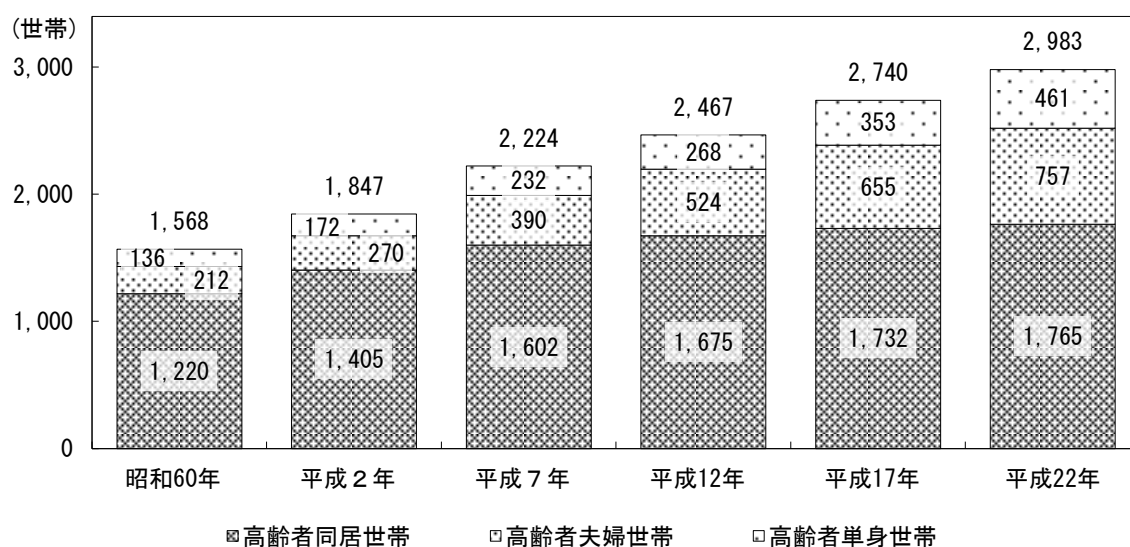
資料：国勢調査

(3) 高齢者のいる世帯

本町の高齢者のいる世帯は、平成22年では2,983世帯となっており、昭和60年の1,568世帯から25年間で1,415世帯増加しています（図表1-9）。

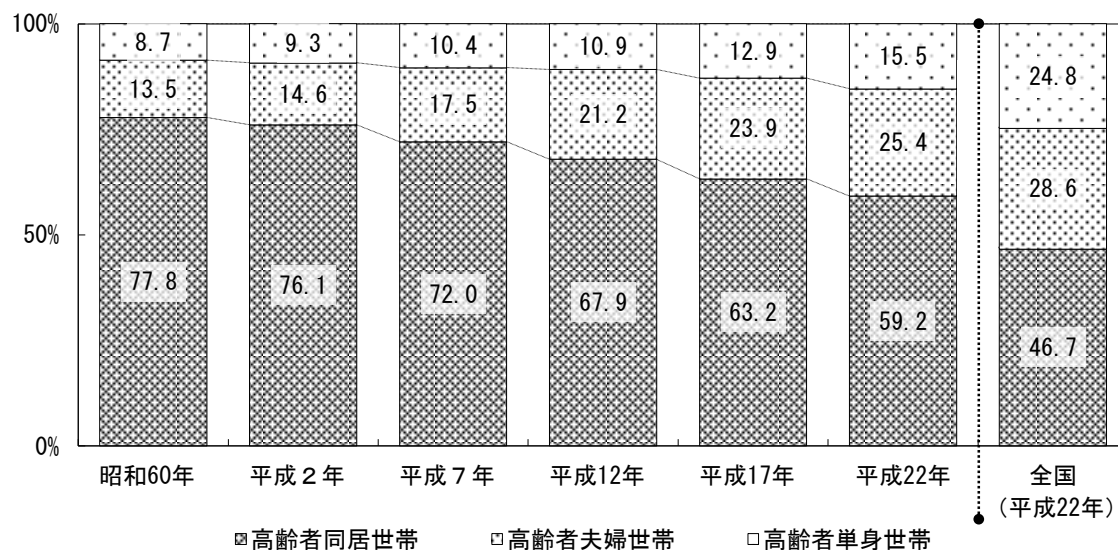
世帯類型別にみると、高齢者夫婦世帯（夫婦のいずれかまたは両方が65歳以上の夫婦のみの世帯）および高齢者単身世帯の割合が大幅に増加し、同居世帯の割合が低下しています（図表1-10）。なお、全国では、高齢者同居世帯が46.7%、高齢者夫婦世帯が28.6%、高齢者単身世帯が24.8%となっています。

図表1-9 高齢者のいる世帯の推移



資料：国勢調査

図表1-10 高齢者のいる世帯の類型割合の推移



資料：国勢調査

(4) 住宅の所有関係

図表1-11は、住宅の所有関係について、全国および岐阜県と比較したものです。本町の持ち家率は84.2%と高く、全国を23.3ポイント、岐阜県を12.0ポイント上回っています。

図表1-11 住宅の所有関係

単位：世帯、(%)

区分	持ち家	公営・都市再生機構・公社の借家	民間の借家	給与住宅	間借り	その他	計
御嵩町	5,328 (84.2)	150 (2.4)	606 (9.6)	155 (2.5)	44 (0.7)	43 (0.7)	6,326 (100.0)
岐阜県	(72.2)	(2.8)	(20.2)	(2.1)	(0.9)	(1.7)	(100.0)
全国	(60.9)	(5.9)	(27.7)	(2.8)	(1.1)	(1.5)	(100.0)

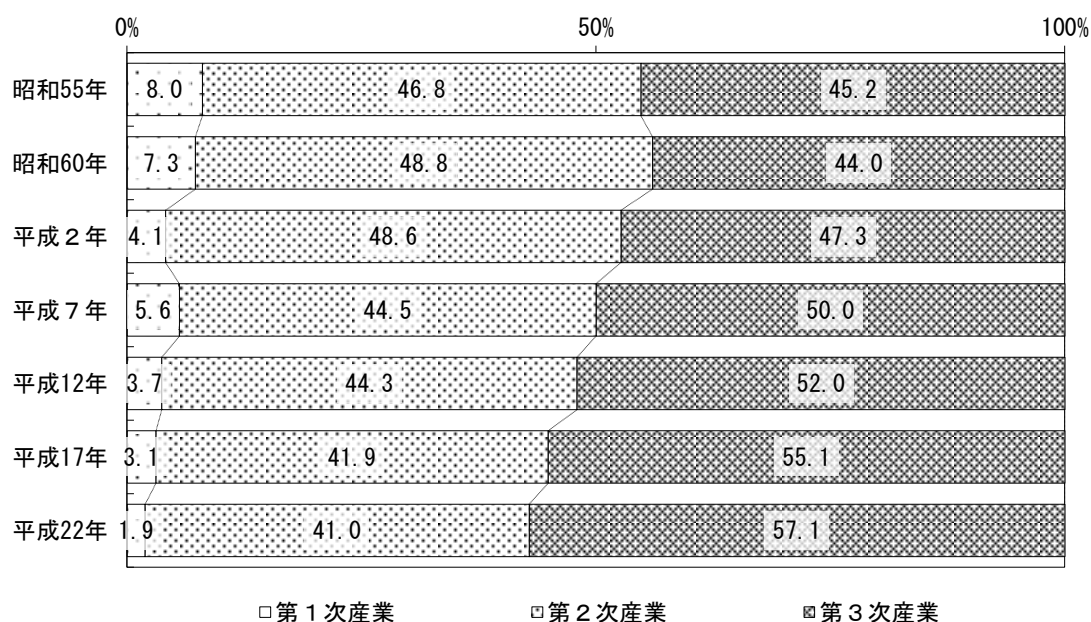
資料：国勢調査（平成22年）

3 就業者などの状況

(1) 産業分類別就業率

本町の産業分類別就業率の推移をみると、第1次産業および第2次産業が低下している一方、第3次産業は上昇傾向にあり、平成22年は57.1%となっています。

図表1-12 産業分類別就業率



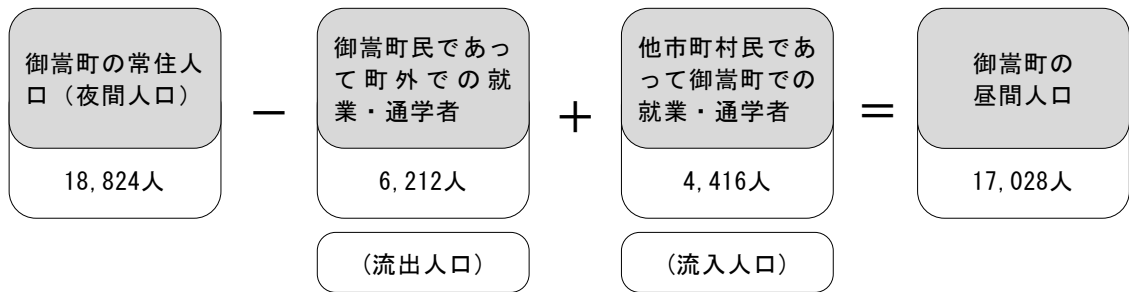
資料：国勢調査

(2) 夜間人口と昼間人口

平成22年の国勢調査によると、本町の人口は18,824人です。このうち町外に就業・通学している人が6,212人おり、逆に町外から本町へ就業・通学している人が4,416人います。したがって、本町は昼間人口が夜間人口より1,700人以上少なく、ベッドタウン的な傾向が強くなっています。

町外の主な就業・通学先は、多治見市、美濃加茂市、可児市、名古屋市などです。逆に、町外に住んでいて本町を就業・通学先としている人が多いのは、多治見市、美濃加茂市、土岐市、可児市などです。

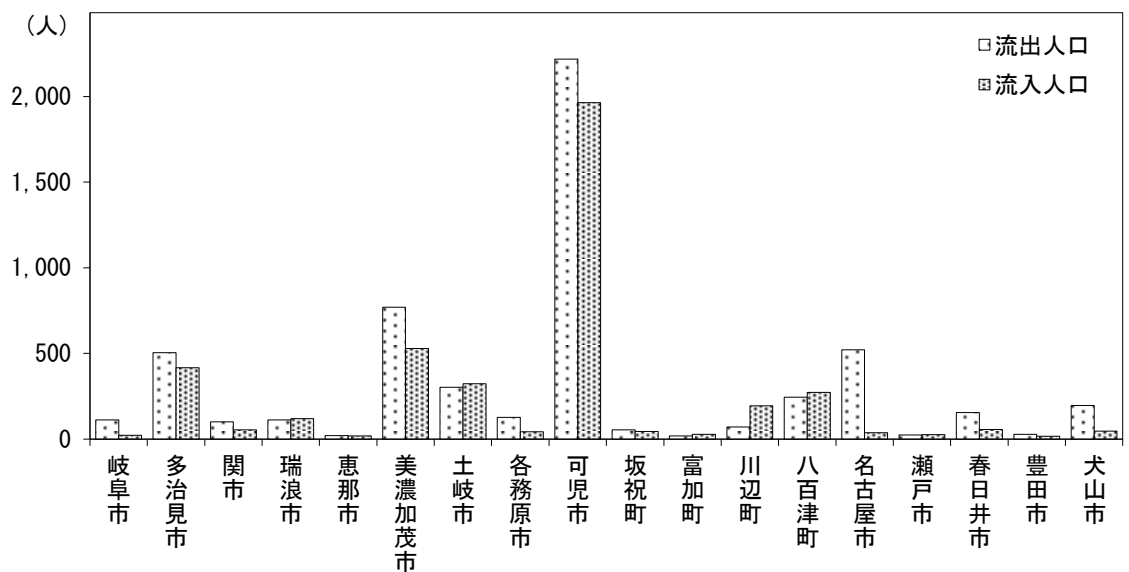
図表 1-13 夜間人口と昼間人口



(注) 夜間勤務の人、夜間学校に通っている人も便宜的に昼間勤務、昼間通学とみなして昼間人口に含んでいます。ただし、この昼間人口には、買い物客などの非定期的な移動については考慮していません。

資料：国勢調査（平成22年）

図表 1-14 主な就業・通学先の状況



資料：国勢調査（平成22年）

4 障がいのある人の状況

平成25年3月末現在、本町には、身体障害者手帳所持者が884人、療育手帳所持者が143人、精神障害者保健福祉手帳所持者が115人おられます。

各障がいの種類別または等級別の手帳所持者数は、図表1-16のとおりです。

図表1-15 各手帳所持者数の推移

区 分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
身体障害者手帳	911	906	912	899	884
療育手帳	119	121	123	141	143
精神障害者保健福祉手帳	70	91	103	102	115
合計	1,100	1,118	1,138	1,142	1,142

資料：福祉課（各年3月31日現在）

図表1-16 各手帳所持者数（平成25年3月末現在）

① 区分別身体障害者手帳所持者数

単位：人

区 分	視覚障がい	聴覚障がい	言語障がい	肢体不自由	内部障がい	合 計
身体	37	59	5	518	265	884

② 等級別療育手帳所持者数

単位：人

区 分	等 級 別					18歳未満 (再掲)	18歳以上 (再掲)	合 計
	A	A 1	A 2	B 1	B 2			
療育	8	21	33	46	35	31	112	143

③ 等級別精神障害者保健福祉手帳所持者数

単位：人

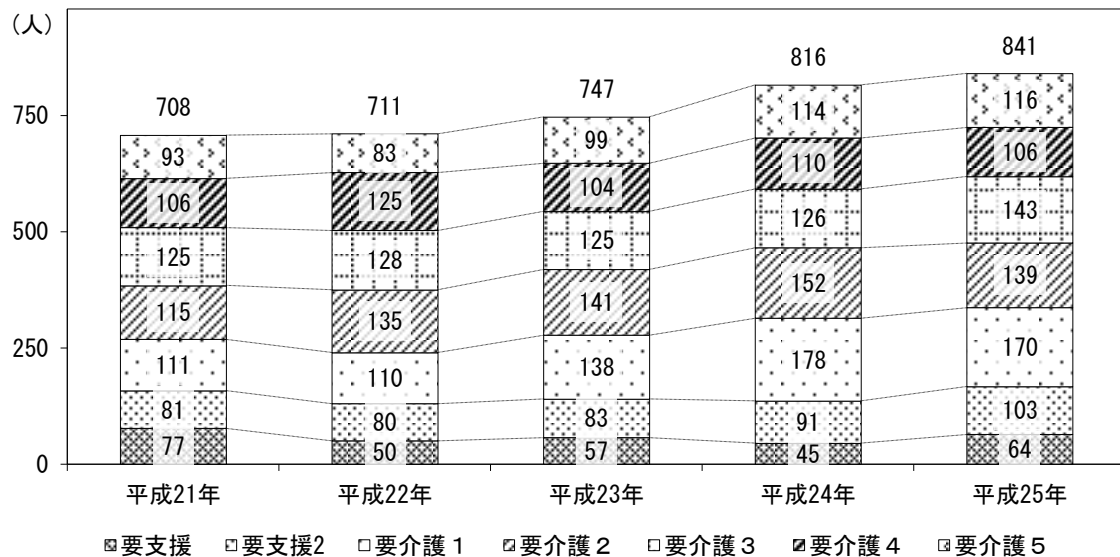
区 分	1 級	2 級	3 級	合 計
精神	29	71	15	115

資料：福祉課

5 要支援・要介護認定者の状況

平成25年3月末現在、本町の要支援・要介護認定者数は841人おり、平成21年から133人、18.8%増加しています（図表1-17）。介護保険サービスを利用しているのは695人おり、受給率は82.6%となっています（図表1-18）。

図表1-17 介護度別認定者数の推移



資料：保険長寿課（各年3月31日現在）

図表1-18 介護サービスの受給状況（平成25年3月末現在）

単位：人、（%）

区分	認定者数	受給者数	受給者数	
			居宅サービス	施設サービス
御嵩町	841	695 (82.6)	526 (75.7)	169 (24.3)

資料：保険長寿課

6 子どもの状況

(1) 出生数

本町の出生数は、平成20年度以降120～140人台で推移しており、平成24年度は134人となっています。地区別にみると、出生数の最も多い中地区が全体の約半数を占めています。

図表1-19 出生数

単位：人

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
出生数	128	136	129	140	134
上之郷	15	7	13	7	8
御 嵩	28	31	29	18	25
中	41	67	49	67	63
伏 見	44	31	38	48	38

資料：「御嵩町保健事業のまとめ」（御嵩町保健センター）

(2) 児童・生徒数

小学校児童数および中学校生徒数はともに年々減少しており、平成25年度の小学校児童数は972人、中学校生徒数は530人です。学校によって多少の増減はありますが、全般的に減少傾向が続いています。

図表1-20 小・中学校の児童生徒数の推移

単位：人

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
小学校児童数	1,030	1,025	1,019	1,008	985	972
上之郷	98	97	90	95	92	90
御 嵩	645	637	635	616	584	583
伏 見	287	291	294	297	309	299

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
中学校生徒数	611	596	551	543	509	530
上之郷	43	43	46	41	38	39
向 陽	368	344	315	318	314	313
共和（含兼山）	200	209	190	184	157	178

資料：教育委員会・学校教育課（各年5月1日現在）

(3) 子どものいる世帯

平成22年の本町の18歳未満の親族のいる世帯は1,702世帯、6歳未満の親族のいる世帯は617世帯です。一般世帯は年々増加する一方、子どものいる世帯は減少を続けています。

図表1-21 世帯の推移

単位：世帯、(%)

区 分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
一般世帯	5,000	5,648	5,813	5,960	6,326
18歳未満の親族のいる世帯	2,511 (50.2)	2,422 (42.9)	2,172 (37.4)	1,902 (31.9)	1,702 (26.9)
6歳未満の親族のいる世帯	887 (17.7)	844 (14.9)	726 (12.5)	663 (11.1)	617 (9.8)

資料：国勢調査

(4) 一人親家庭

平成22年の本町の一人親家庭は72世帯です。母子家庭が59世帯、父子家庭が13世帯あり、母子家庭は増加傾向にあります。一人親家庭全体に占める6歳未満の親族のいる世帯の割合は、ピーク時の平成12年から低下しています。

図表1-22 一人親家庭の推移

単位：世帯

区 分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
一人親家庭	58	48	52	65	72
6歳未満の親族のいる世帯 (率)	8 (13.8)	3 (6.3)	10 (19.2)	12 (18.5)	11 (15.3)
母子家庭	44	41	38	48	59
6歳未満の親族のいる世帯 (率)	8 (18.2)	2 (4.9)	8 (21.1)	12 (25.0)	11 (18.6)
父子家庭	14	7	14	17	13
6歳未満の親族のいる世帯 (率)	— (—)	1 (14.3)	2 (14.3)	— (—)	— (—)

資料：国勢調査

7 地域の状況

(1) 民生委員・児童委員・主任児童員、福祉委員

平成25年4月1日現在、本町には、民生委員・児童委員が35人、主任児童委員が3人、福祉委員が82人います。

図表1-23 民生委員・児童委員・主任児童委員、福祉委員数

単位：人

区分	民生委員・児童委員	主任児童委員	福祉委員
御嵩町	35	3	82
上之郷	6	1	18
御嵩	9	1	20
中	12	—	20
伏見	8	1	24

資料：福祉課、社会福祉協議会（平成25年4月1日現在）

(2) 自治会

平成25年4月1日現在、本町の自治会加入率は75.7%となっており、年々低下傾向にあります（図表1-24）。

地区別の自治会加入率は、御嵩（80.3%）が最も高くなっています（図表1-25）。

図表1-24 自治会加入率の推移

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
加入率（%）	78.1	77.4	76.8	77.0	75.7

資料：住民環境課（各年4月1日現在）

図表1-25 地区別自治会加入状況

区分	自治会数	総世帯数	自治会加入世帯数	自治会加入率
御嵩町	69	7,082	5,363	75.7
上之郷	16	692	517	74.7
御嵩	18	1,845	1,481	80.3
中	17	2,602	1,932	74.3
伏見	18	1,943	1,433	73.8

資料：住民環境課（平成25年4月1日現在）

(3) ボランティア団体など

平成24年4月1日現在、社会福祉協議会に登録されているボランティア団体・町民活動団体数は36団体、登録人数は525人となっており、団体数および人数ともに過去5年間で最も多くなっています。

図表 1-26 ボランティアなど登録団体数の推移

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
登録団体数	24	23	30	26	36
登録人数	507	428	446	403	525

資料：社会福祉協議会（平成20～22年度は10月1日、平成23～24年度は4月1日現在）

(4) 見守りネットワーク

本町の見守りネットワークには、郵便局・新聞店・酒店・石油店など地域に密着した事業者が高齢者宅に配達した際に積極的に声かけをして日常生活を見守る『福しあわせの環わ』と、認知症などで行方不明となった高齢者を、住民・警察署・介護サービス事業所・商店・交通機関など地域のさまざまな機関・団体が協力して少しでも早く発見し、ご家族のもとに帰れるよう生命と安全を守る「徘徊高齢者SOSネットワーク『ほっとねっと』』があります。

各見守りネットワークの登録事業者数、登録個人数は図表1-27のとおりです。

図表 1-27 見守りネットワークの状況

区 分	登録事業所数	登録個人数
福の環	22	1
ほっとねっと	141	120

資料：保険長寿課（平成25年4月1日現在）